

石川県立ろう学校のホームページをご覧ください、誠にありがとうございます。

本校は、明治41年、上森捨次郎氏の私立金沢盲聾学校開設に始まり、今年で118年目を迎えます。県内で唯一、聴覚に障害のある幼児児童生徒のための特別支援学校で、「すすんで学び、挑戦する、たくましく心豊かな人間の育成」を教育目標に掲げ、幼稚部から高等部専攻科（3歳から20歳）まで学習できる学校です。

令和8年度は、幼稚部9名、小学部9名、中学部8名、高等部9名、専攻科0名の35名でスタートしました。今年度は①教科指導の充実と専門性の向上と継承、②共生社会の実現に向けた特別支援学校のセンター的機能の更なる推進、③健康で豊かな心が育つ安心・安全な学校づくり、④令和の時代にふさわしい活気ある学校づくりの4点を重点目標に掲げ、取り組んで参ります。

また本校では、2001年（平成13年）度より、手話を共通のコミュニケーションとして取り入れ本校の共通言語は「手話」と位置づけ、幼児児童生徒の自分考えや気持ちを伝える力、相手の考えや気持ちを理解する力を育てています。

子供たち一人一人の聞こえの実態は大きく異なりますが、それぞれの子供が主体的・対話的で深い学びを通して、それぞれの持つ可能性を最大限に引き出せるよう、コミュニケーション手段を工夫し、ICT機器も状況に応じて活用できる教師の専門性の維持・向上に努めて参ります。

校内に設置する「きこえの相談支援センター」では、0歳児からの乳幼児相談、小中学生の通級指導教室、輪島や珠洲でのサテライト教室、補聴相談等を行うとともに、県内の幼小中高等学校等に専門相談員派遣を実施しています。「難聴と診断された」「呼んでも振り向かない」「会話の行き違いがある」などお子様の聞こえに疑問や不安がある方は、どうぞお気軽に在籍校・園等を通じてご連絡をお願いします。

令和9年度には、本県において第51回全国高等学校総合文化祭2027いしかわ総文が開催されます。インクルーシブ教育を推進する本県での開催を成功させるため、本校も高等学校と連携協力を進め積極的に参加してまいります。

今後とも、本校の教育にご支援とご協力をお願い申し上げます。

令和8年4月

石川県立ろう学校長 東 寿彦